

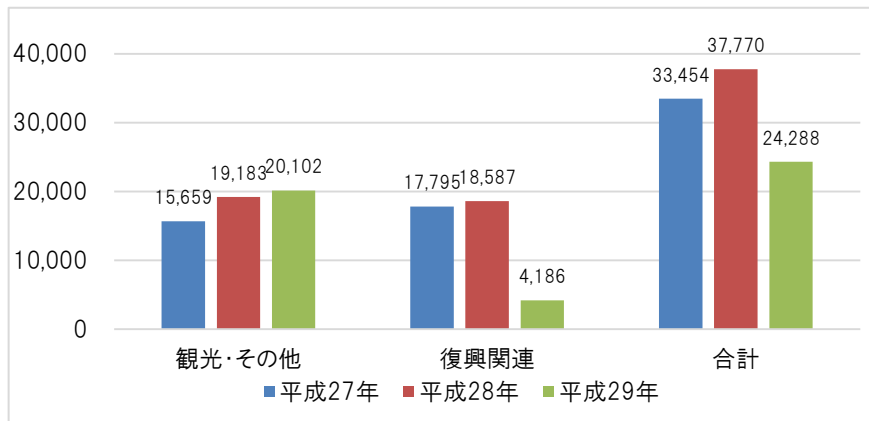
気仙沼観光マーケティングレポート(平成 29 年 5 月版)

◆今月のピックアップ

- ・28年に比べ、宿泊人数、観光施設の利用人数は減少しているがレジ通過人数と観光施設利用人数は増加している。
- ・前月に引き続き、復興関連の需要が減少している。

1. 宿泊

(1) 宿泊人数

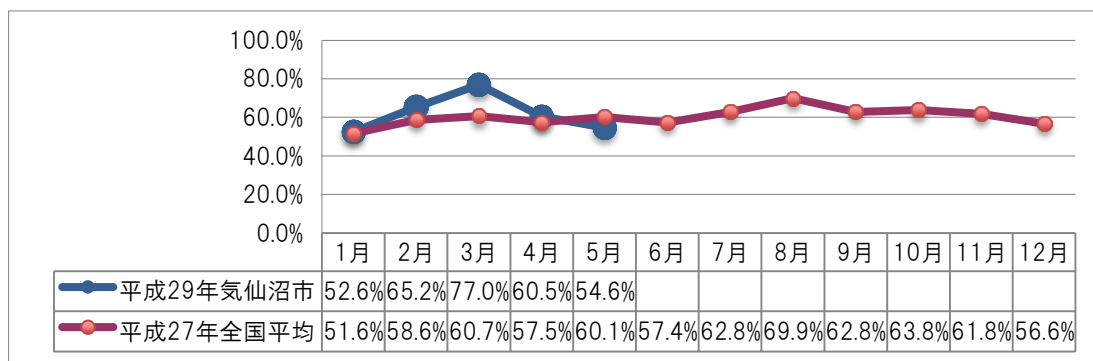


(単位:人)

宿泊者	平成 27 年 (5 月)	平成 28 年 (5 月)	平成 29 年 (5 月)
観光	15,659	16,314	10,350
(その他)	-	2,869	9,752
復興関連	17,795	18,587	4,186
合計	33,454	37,770	24,288

※平成 29 年より「その他(主に復興事業以外のビジネス客)」の項目を増やし調査しております。

(2) 客室稼働率



《参考データ》

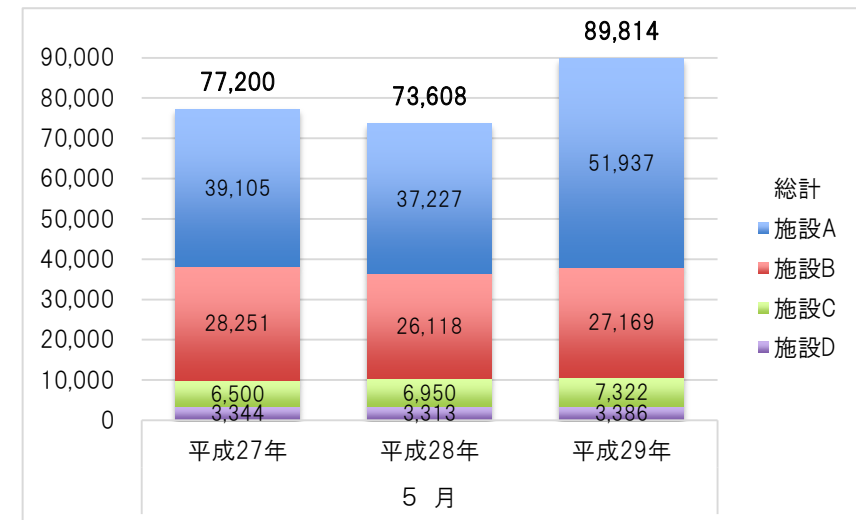
宿泊施設タイプ別 (全国平均)	平成 27 年 (5 月)
旅館	39.4%
リゾートホテル	57.9%
ビジネスホテル	76.4%
シティホテル	83.5%
簡易宿所	29.6%

※平成 27 年全国平均は、観光庁宿泊旅行統計調査(平成 27 年・年間値(確定値))より

- ・5月の宿泊者数は前年比約35%の減。復興関連の激減(前年比77%の減)が主要因。
- ・宿泊施設からは「GWは天候に恵まれ好調」「その後が息切れ状態」という反応が複数寄せられた。

2. 物販施設

(1) レジ通過人数



(単位:人)

物販施設	平成 27 年 (5 月)	平成 28 年 (5 月)	平成 29 年 (5 月)
施設 A	39,105	37,227	51,937
施設 B	28,251	26,118	27,169
施設 C	6,500	6,950	7,322
施設 D	3,344	3,313	3,386
総計	77,200	73,608	89,814

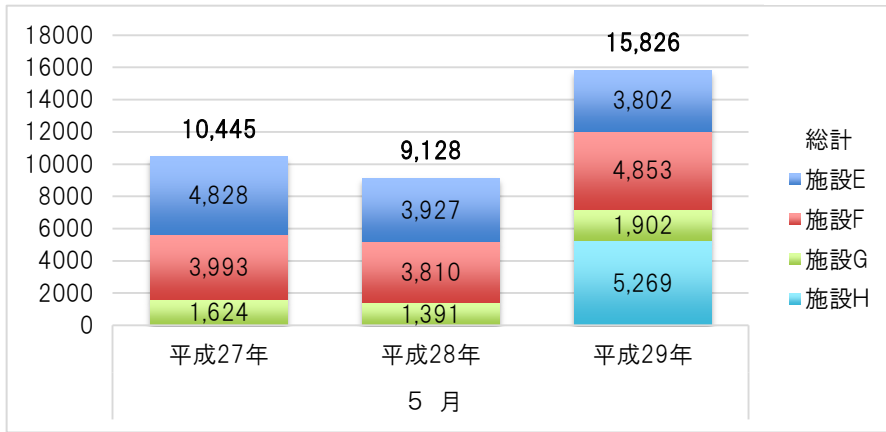
・物販施設のレジ通過者は、前年同時期と比較すると全体で約18%増加している。

3. 観光施設

(1) 利用人数

(単位:人)

(単位:人)



観光施設	平成27年 (5月)	平成28年 (5月)	平成29年 (5月)
施設E	4,828	3,927	3,802
施設F	3,993	3,810	4,853
施設G	1,624	1,391	1,902
施設H	-	-	5,269
総計	10,445	9,128	3,208

※平成29年5月より施設Hを追加し、調査しております。

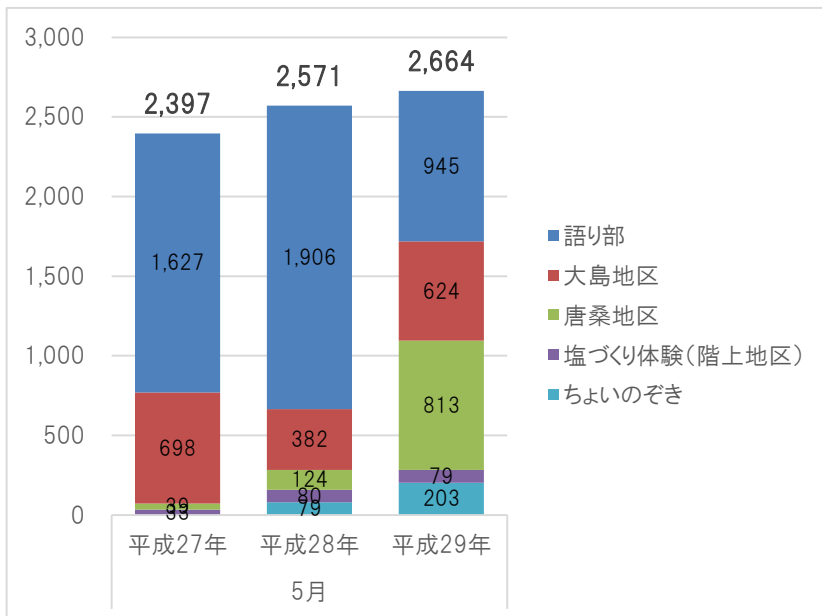
・観光施設の利用者は、前年同時期と比較すると全体で、約42%増加している。

4. アクティビティ体験

(1) 体験人数

(単位:人)

(単位:人)

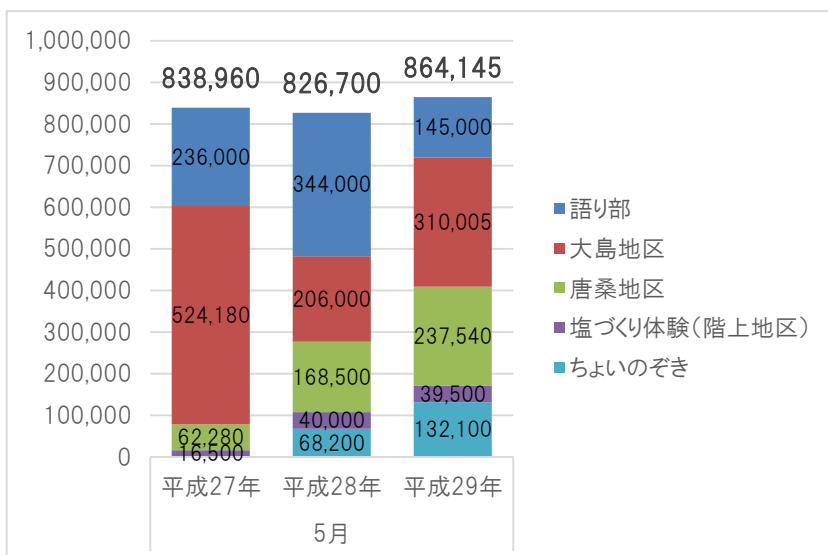


アクティビティ	平成27年 (5月)	平成28年 (5月)	平成29年 (5月)
語り部	1,627	1,906	945
大島地区	698	382	624
唐桑地区	39	124	813
塩づくり体験 (階上地区)	33	80	79
ちよいのぞき	0	79	203
合計	2,397	2,571	2,664

(2) 体験金額

(単位:円)

(単位:円)

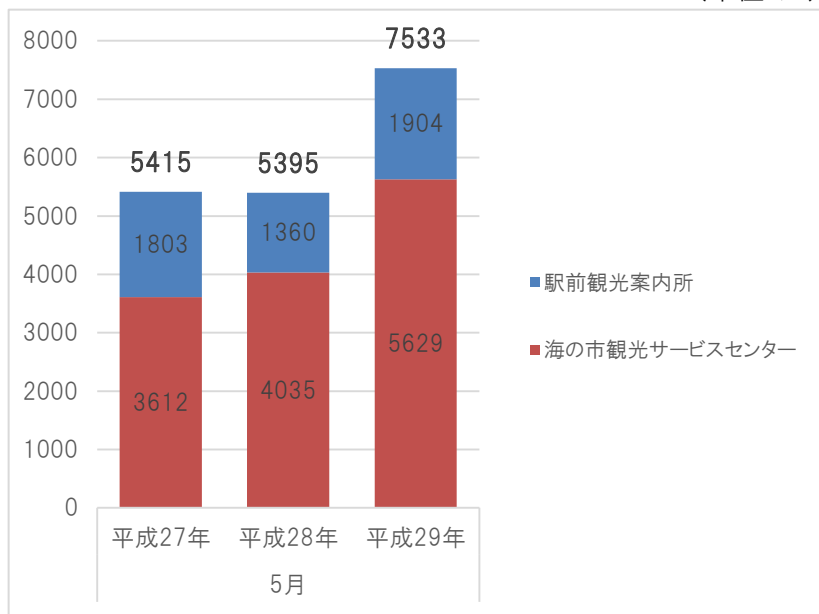


アクティビティ	平成27年 (5月)	平成28年 (5月)	平成29年 (5月)
語り部	236,000	344,000	145,000
大島地区	524,180	206,000	310,005
唐桑地区	62,280	168,500	237,540
塩づくり体験 (階上地区)	16,500	40,000	39,500
ちよいのぞき	0	68,200	132,100
合計	838,960	826,700	848,145

・アクティビティの体験人数、体験金額ともに、前年同時期と比較してほぼ横ばいである。

(1)利用人数

(単位:人)



(単位:人)

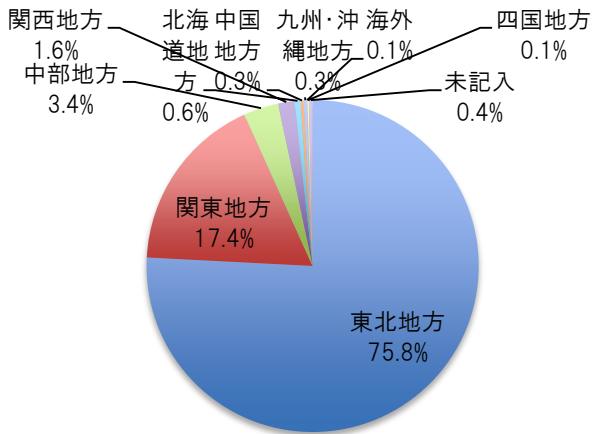
観光案内所	平成 27 年 (5 月)	平成 28 年 (5 月)	平成 29 年 (5 月)
駅前観光案内所	1,803	1,360	1,904
海の市観光 サービスセンター	3,612	4,035	5,629
合計	5,415	5,395	7,533

・観光案内所の利用人数は、前年同時期と比較すると全体で、約 28%増加している。

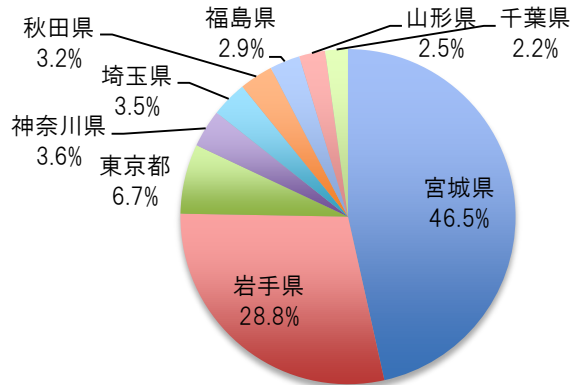
6. 来訪者動向(2016年5月～2017年5月)

※アンケート調査による(主に海の市にて10回実施)

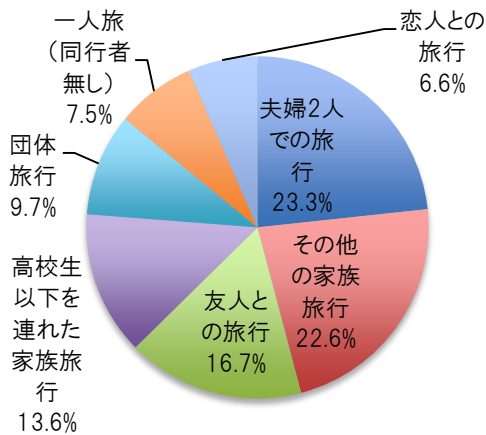
(1)エリア別 N=1377



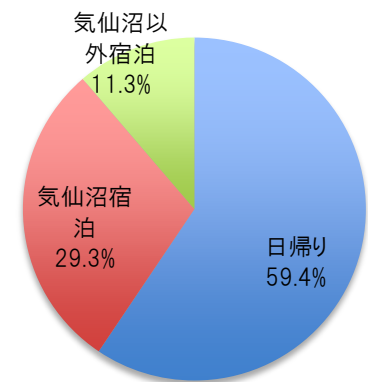
(2)都道府県別 N=1234



(3)同行者 N=1279



(4)宿泊率 N=1363

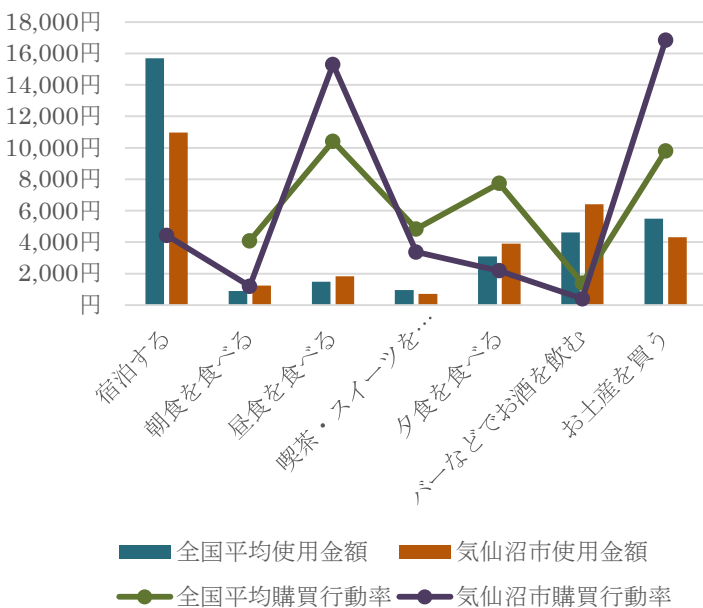


- ・来訪者は、東北地方、関東地方で、約93%を占める。都道府県別では、宮城県、岩手県で約75%を占める。
- ・同行者は、「夫婦二人での旅行」が23.3%と一番多く、次いで「その他の家族旅行」が続く。
- ・気仙沼宿泊率は、約29.3%となっており、更なる上昇が課題。

(5)気仙沼市内で使用した(使用する)金額、購買行動率

※飲食や買い物等、各項目でお金を使用した人の割合

※じゃらん宿泊者データより



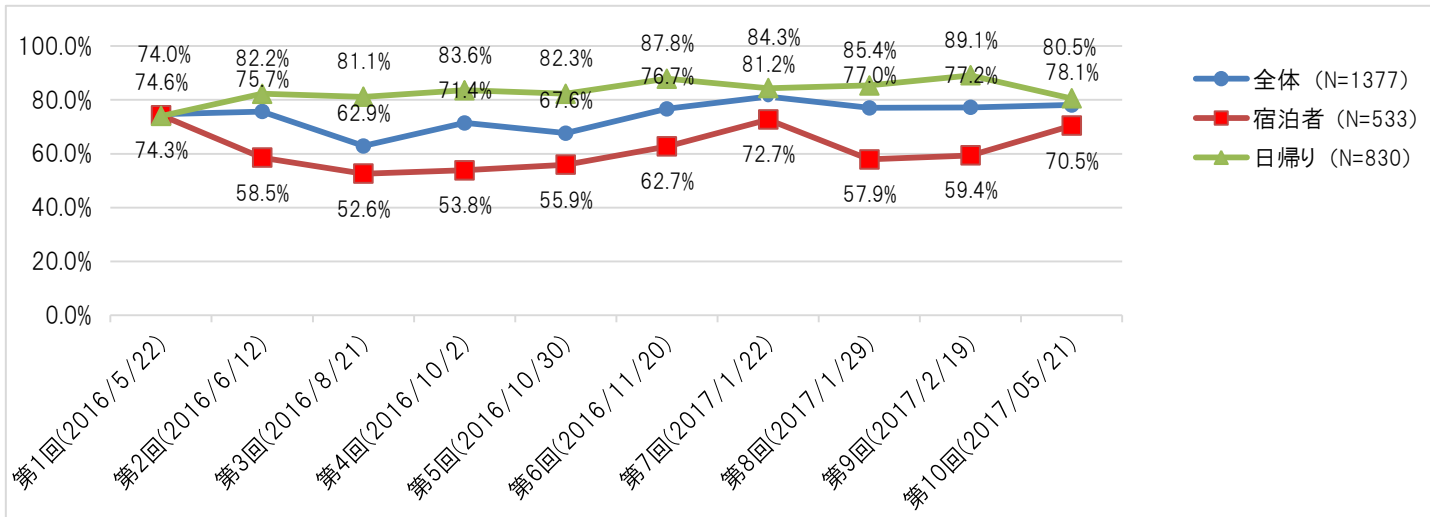
	朝食を食べる	昼食を食べる	喫茶・スイーツを食べる	夕食を食べる	バーなどでお酒を飲む	お土産を買う
全国平均購買行動率	20.4%	52.1%	24.2%	38.7%	7.0%	49.0%
気仙沼市購買行動率	6.0%	76.5%	16.9%	10.9%	2.0%	84.3%
全国平均使用金額	900円	1,490円	950円	3,090円	4,610円	5,500円
気仙沼市使用金額	1,232円	1,830円	716円	3,897円	6,407円	4,314円

- ・使用金額は、全国平均と比べて朝・昼・夕食の金額は高いが、宿泊、お土産の金額は低い。
- ・購買行動率は、全国平均と比べて昼食、お土産の行動率が高い。

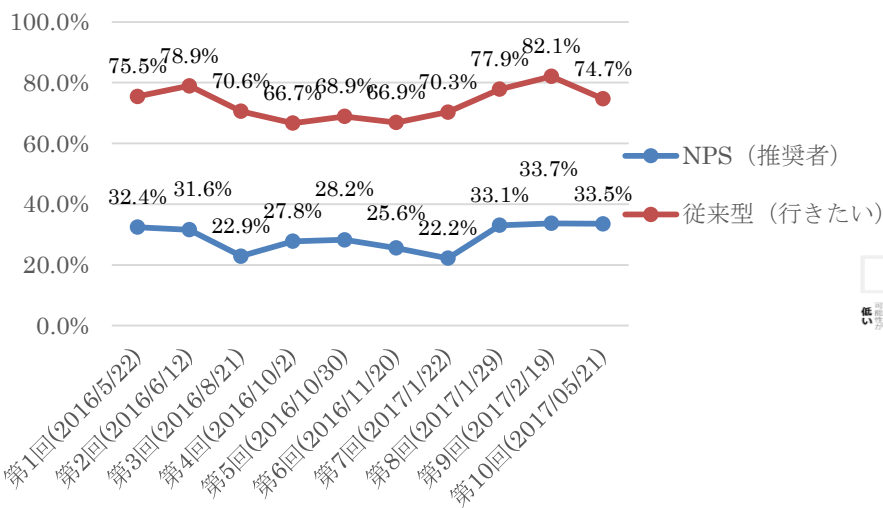
7. 観光客の声(2016年5月～2017年5月)

※アンケート調査による(主に海の市にて10回実施)

(1) リポート率

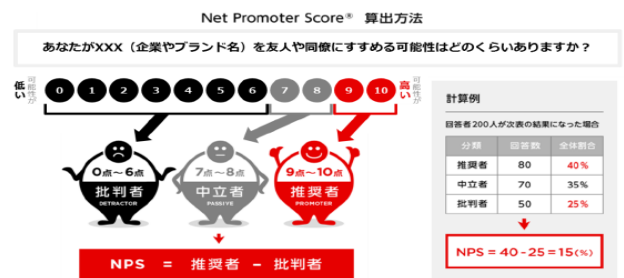


(2) 観光客満足度



(※)NPS

Net Promoter Score®の略で、顧客ロイヤルティを測る新しい指標。欧米の公開企業ではすでに3分の1以上が活用しているとも言われ、日本でも従来の顧客満足度に並ぶ新たな指標として注目を浴びている。



- ・リポート率の平均は全体で約78%、宿泊者のみで約70%、日帰りでは約80%となっている。
- ・観光客満足度は、従来型では約70%以上が「また気仙沼に行きたい」と回答しているのに対し、NPS(*)での推奨者は30%前後に留まっている。

(3) アンケートの声

気仙沼市のどこが観光名所かわかりにくい。体を動かすようなアクティブな場所がない。
(埼玉県 20代男性 一人旅)

海産物が豊富ですが、北海道人には普通に感じる。ただ、マグロは美味しいです。
(札幌市 50代男性 一人旅)

道路がガタガタしている。
(仙台市 30代男性 夫婦2人での旅行)

食べ物が美味しい。海が綺麗。大橋をすすめたい。
(涌谷町 60代男性 その他の家族旅行)

大島のリフトがやっていると思った。案内がきちんとできていない。
(仙台市 50代女性 夫婦2人での旅行)

変わっていく様子を見た方が良いと思うので。食べ物がとても美味しかったので。
(横浜市 50代女性 夫婦2人での旅行)

案内指示が少なく、わかりにくい。観光客用の表示が欲しい
(柴田町 50代女性 その他の家族旅行)

BRTに乗れて良かったことをススメたい。
(仙台市 30代女性 その他の家族旅行)

本レポートに関するご質問、改善のご提案は、以下までご連絡ください。

【お問い合わせ先】気仙沼観光推進機構 0226-25-7115 info@rias-kanko.com